



報道関係者各位

2017年7月26日
青森県立保健大学

平成 29 年度「健やか力（ヘルスリテラシー） 向上サポート活動」について

I. 背景

平成 27 年4月、本学は「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言」をし、県民の健やか力（ヘルスリテラシー）向上に大学をあげて取り組んでおります。

今年度で3年目となる「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動」は、4チームの活動を認定し、既に活動を始めています。継続して活動するチームが多いですが、この活動に継続して参加することでヘルスリテラシーの大切さを実感した学生たちが自ら率先して提案し、活動に取り組み始めています。

この4チームの活動概要についてお知らせいたします。

II. 各活動紹介

No.	種別	活動名	活動代表者	活動概要
1	継続	ヘルスリテラシー向上活動 (ヘルスリテラシー向上部)	社会福祉学科 特任教授 小山内 豊彦	昨年「健やか力検定」活動として行ったものを、活動の幅を広げヘルスリテラシー向上部の部活動として行い、学生を主体にヘルスリテラシー向上に努める。 昨年に引き続き大学生を対象に健やか力検定を実施するほか、大学祭や各種イベントの場を活用し健康測定等を実施、テレビ番組出演等によるメディア発信を通して、県民の健康に対する意識の底上げに貢献する。
2	新規	青森県立保健大学版 Link topos を立ち上げと拡大を図るための活動 (Link Plus)	看護学科3年 濱田 奈那	公立大学学生ネットワーク「Link topos」(全国版 Link topos) の活動に参加したことをきっかけに県内でも同様の地域活動がしたいと考え、全国版 Link topos に参加した A-knot、Smile、りんごの会のサークルメンバーの学生を構成員としヘルスリテラシー向上の活動をする。全国版 Link topos や既に Link topos の活動をしている他大学へ伺い、具体的な活動等について情報収集をするほか、3サークルが協働することで今後のヘルスリテラシー向上、健康増進に関連する学生主体の地域貢献活動を継続的に発展する基盤づくりにつなげる。

No.	種別	活動名	活動代表者	活動概要
3	継続	元気フェスタ PartⅢ (チーム家族)	看護学科 教授 古川 照美	今年3年目の HL 向上サポート活動となる。 地域特性、家族支援の具体的方法、健康教育を学び、個々に必要な支援提供をすることで地域活動意識向上、県民の HL 向上につなげる。地域における家族支援プログラム企画として『元気フェスタ PartⅢ』を実施予定。今年度は会場を変更し本活動が学生の HL 向上につながっているかを客観的に評価する。
4	継続	おかず味噌汁を食して 健やか力を向上させよう運動(フェーズ3) (おかず味噌汁健やか 力向上委員会)	栄養学科3年 後藤 優和	活動3年目となる今年度は、すこやんクラブの学生が中心となって活動する。 おかず味噌汁を通して学生の食生活改善への実践力を育成、レシピ等を公開、大学祭等への出店のほか、一人家庭の中学生や一人住まいのお年寄りを対象としたおかず味噌汁の提供や立案、2月には衛生委員会依頼による研修会で本学教職員にもおかず味噌汁の提供を予定している。

問い合わせ*****

青森県立保健大学 事務局経営企画室

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2009 FAX:017-765-2688

担当：永澤、阿保
